

UBE株式会社 会社説明会

2024年2月22日 (木)

UBE株式会社

取締役 執行役員 CFO 石川 博隆

I

UBEの概要

II

UBEグループの経営戦略

III

2023年度業績予想

IV

スペシャリティ化学の成長戦略

ポリイミドチェーン（ポリイミド、分離膜）、ファインケミカル（C1ケミカル）

V

機械事業・セメント関連事業

VI

株主還元の考え方

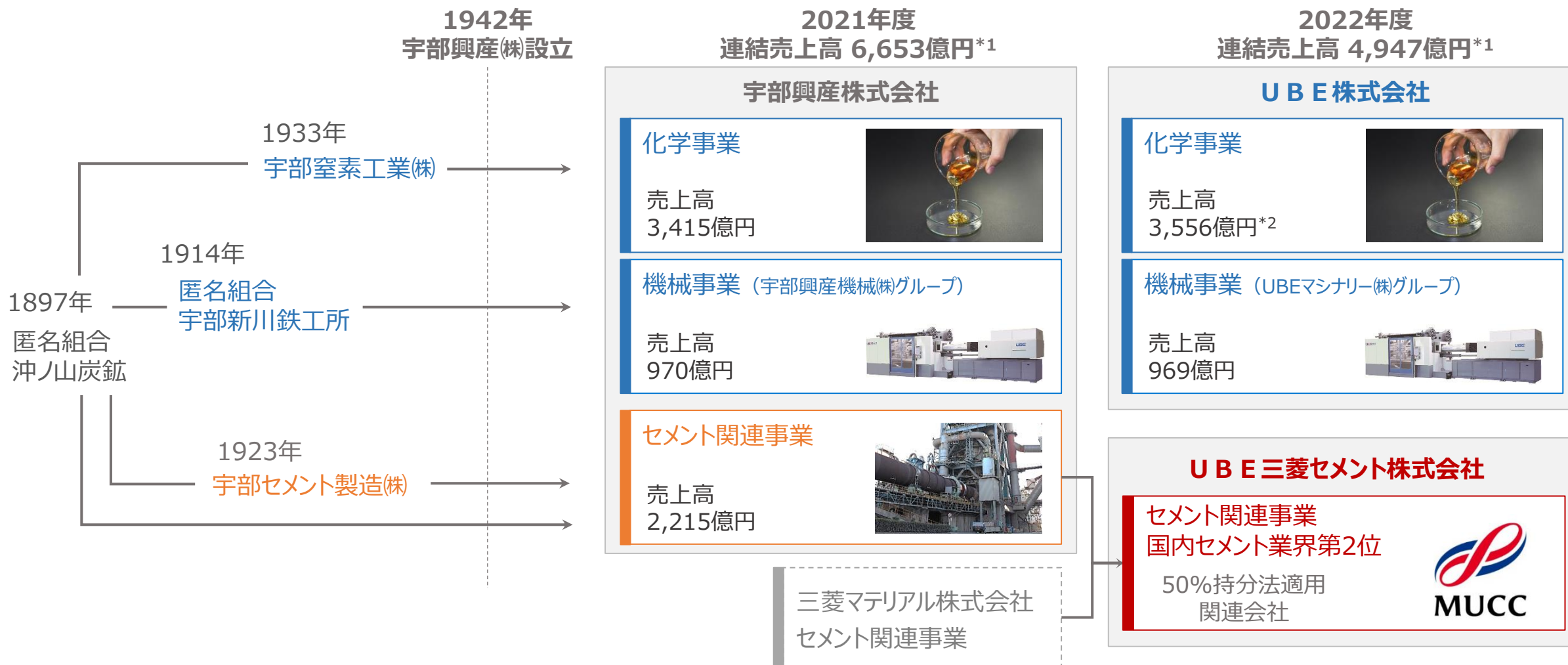
The background is a vibrant blue with a dynamic, abstract pattern of light rays or fiber-like structures that converge towards the center, creating a sense of depth and movement. The rays are lighter in color where they are more concentrated and fade into the darker blue background as they spread out.

I UBEの概要



創業の地 山口県宇部市 本社工場群

社名	U B E 株式会社 ※ 2022年4月に宇部興産株式会社から商号変更
創業 設立	1897年6月 1942年3月
資本金	584億円
本社（東京） （山口）	東京都港区芝浦 山口県宇部市
連結従業員数	8,028人 （2023年3月末）
売上高 営業利益	4,947億円 （2023年3月末） 162億円 （2023年3月末）
事業内容	化学品の製造・販売 機械の製造・販売



*1 2021年度は旧セグメント、2022年度は新セグメントで表示。いずれも便宜上、その他セグメントと調整額の記載を省略

*2 機能品セグメントと樹脂・化成品セグメントの単純合算

セグメント	主要製品	用途例
機能品 売上高 622億円	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ  ポリイミド 分離膜	大型液晶ディスプレイ、フレキシブル有機ELディスプレイ バイオ燃料（バイオメタン）精製 軸受、放熱基板（電動車向け） LiB* ¹ セパレータ（電動車向け） 
樹脂・化成品 売上高 2,934億円	コンポジット ファインケミカル / 高機能コーティング ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 エラストマー  高機能コーティング製品 (PCD、PUD)	自動車部材 LiB電解液、人工皮革、水系塗料 食品包装用フィルム 衣料用ナイロン繊維、肥料 工業用途 自動車用タイヤ 
機械 売上高 969億円	成形機 産業機械 製鋼  射出成形機	自動車部品の成形 運搬機、ミル、橋梁 製鋼品 
その他 売上高 731億円	医薬（創薬研究 / CDMO* ² ） 電力（自家発電）	創薬研究 / 原薬・中間体の製造、プロセス開発 自家発電、余剰電力の売電 

*¹LiB：リチウムイオン2次電池

*²CDMO：医薬品製剤開発・製造支援事業

社会ニーズ	当社スペシャリティ製品による貢献	
<p>地球温暖化対策 クリーンエネルギー</p>	<p> 電動車 (xEV) : セパレータ、電解液用DMC (LiB)、セラミックス (基板、軸受) 燃料電池車 (FCV) : コンポジット (水素タンク)、分離膜 (除加湿) バイオガス : 分離膜 (脱炭酸) 風力発電 : セラミックス (軸受) 太陽電池 : ポリイミド 軽量化材料 : コンポジット、チラノ繊維 エコタイヤ : VCR (特殊エラストマー) </p>	<p>自動車の電動化を支えるLiBセパレータ</p> 
<p>健康 食の安全</p>	<p> 医薬品 : 創薬、CDMO (原薬、中間体) 医療機器 : 分離膜 (加湿) 有機溶剤削減 : 高機能コーティング (塗料、接着剤) 食品包装 : 共重合ナイロン 肥料 : 大粒硫安 </p>	<p>フードロス解消に貢献する食品包装向けナイロン</p> 
<p>豊かな社会 デジタル化</p>	<p> ディスプレイ、回路基板 : ポリイミド 半導体 : 封止材用樹脂、高純度ガス、高純度薬液 </p>	<p>高精細ディスプレイに不可欠なポリイミド</p> 

宇部本社

医薬研究所
宇部ケミカル工場
宇部電子工業部材工場



名古屋支店

東京本社

UBEエラストマー(株)千葉工場
みらい技術研究所



堺工場
大阪研究開発センター



スペイン



2022年度 海外売上高比率

52%

アメリカ



● デュッセルドルフ (ドイツ)

● カステジョン (スペイン)

● グルガオン (インド)

● バンコク (タイ)

● サムットプラーカーン (タイ)

● ラヨン (タイ)

● マレーシア

● 南通 (中国)

● 上海 (中国)

● 無錫 (中国)

● ソウル (韓国)

● アサン (韓国)

● 台北 (台湾)

● グアナファト (メキシコ)

● メキシコシティ (メキシコ)

● ミシガン (米国)

● インディアナ (米国)

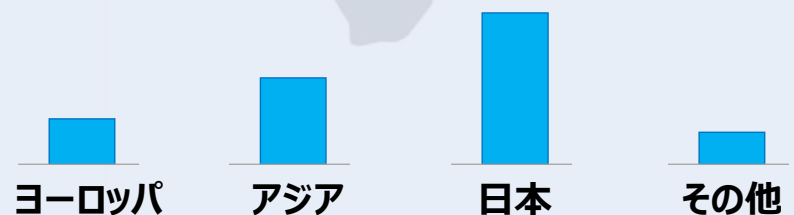
● サンパウロ (ブラジル)

タイ



地域ごとの売上高 (2022年度)

706億円 1,367億円 2,368億円 506億円





UBEグループの経営戦略

創業の精神

「共存同栄」、「有限の鉱業から無限の工業へ」

UBE 経営理念

技術の探求と革新の心で、未来につながる価値を創出し、
社会の発展に貢献します

パーパス（存在意義）

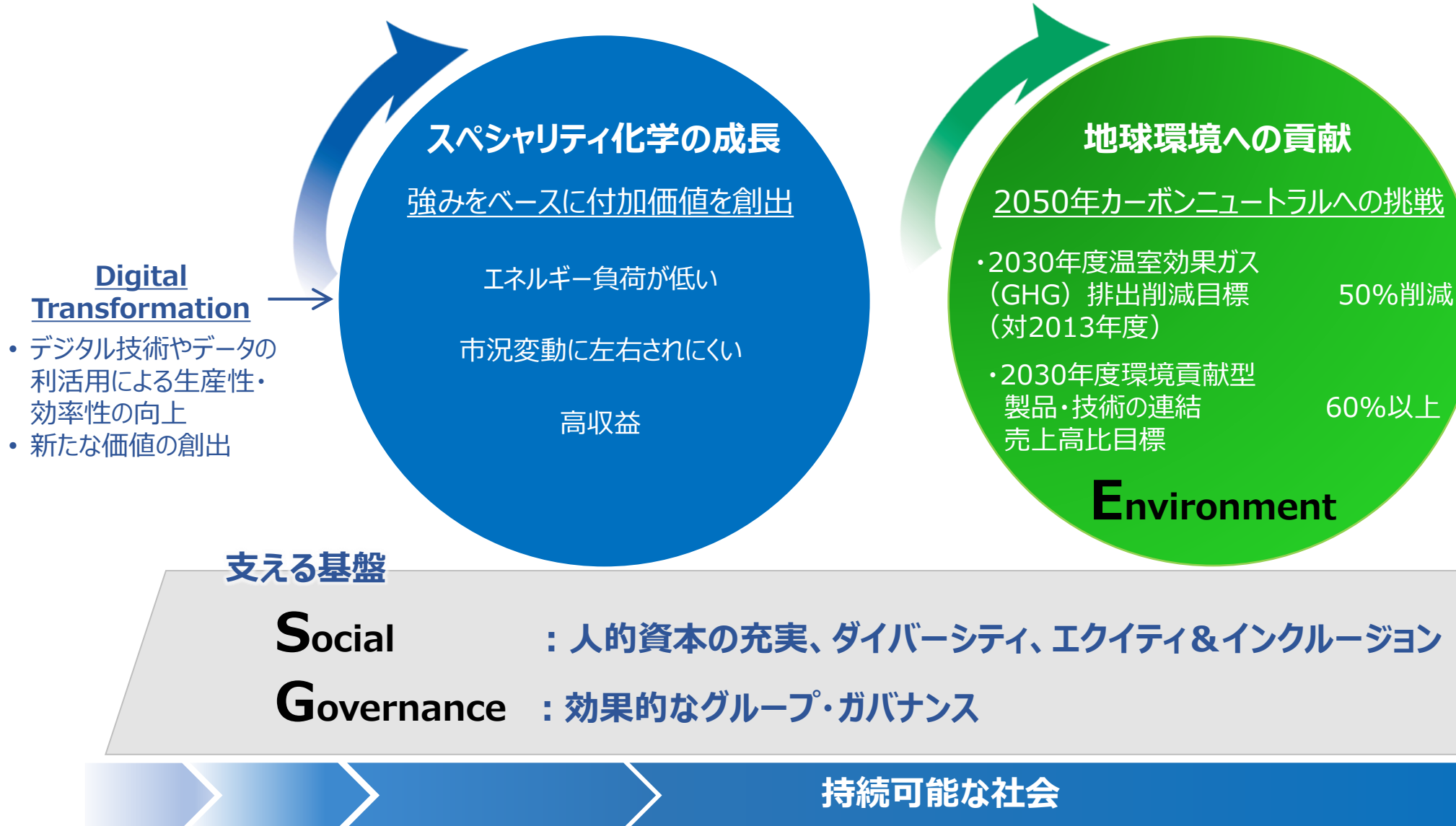
創業以来の歴史の中で培ってきたモノづくりの技術を活かし、
社会に必要とされている価値を、社会が求める安全で
環境負荷の少ない方法で創り出し、人々に提供していくこと。
これにより、人類共通の課題となった地球環境問題の解決に、
また人々の生命・健康、そして未来へとつながる
豊かな社会に貢献すること。

UBE 経営方針

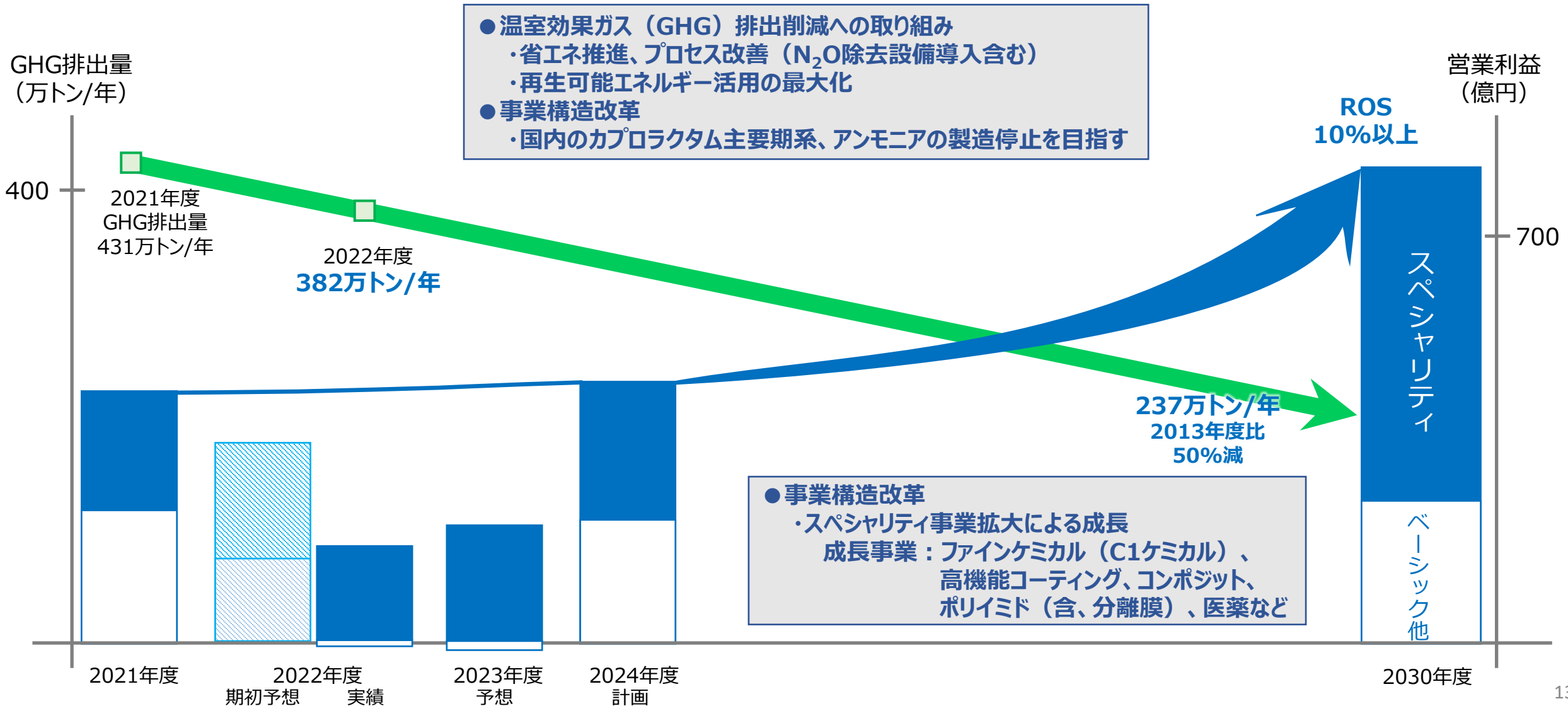
「倫理」、「安全と安心」、「品質」、「人」

2030年の目指す姿（長期ビジョン）
地球環境と人々の健康、そして豊かな未来社会に貢献する
スペシャリティ化学を中核とする企業グループ

■ UBEグループのビジネスモデル



■ スペシャルティ化学への積極的な投資で事業構造を転換し、GHG排出削減と成長を両立させる



ポートフォリオ区分	対象事業
<p style="text-align: center;">スペシャリティ事業</p> <p>技術力やバリューチェーンにおける強みをベースに付加価値を創出し高収益を実現できる事業で、今後一層の成長・拡大を目指す</p>	<p><u>ポリイミド</u>、<u>分離膜</u>、セラミックス、半導体ガス、セパレータ コンポジット、<u>ファインケミカル（C1ケミカル）</u>、 <u>高機能コーティング</u>、医薬、フェノール樹脂</p>
<p style="text-align: center;">ベーシック事業</p> <p>着実な利益の改善・上乗せを目指す</p>	<p>ナイロンポリマー、カプロラクタム・硫安、工業薬品 エラストマー、ポリエチレンフィルム、樹脂加工品</p>

その他：海外販社、物流・分析サービス、不動産事業、機械等

■ 創出したキャッシュを成長投資、研究開発および株主還元 に充当

(億円)

キャッシュイン 3年間累計	
営業キャッシュフロー *1	1,450
資産売却等	150
負債調達	550
キャッシュ 2022年3月末	
キャッシュ	350 *2



(億円)

キャッシュアウト 3年間累計	
設備投資・投融資	1,600
研究開発	320
負債返済	0
株主還元	290
	還元総額
	290
キャッシュ 2025年3月末	
キャッシュ	290

*1 研究開発投資前の営業キャッシュフロー

*2 2022年4月1日付でUBE三菱セメント社に移管した現預金を除く

■ 経営資源をスペシャリティ事業へ集中的に投入

中期経営計画（2022年度～2024年度）における経営資源投入計画

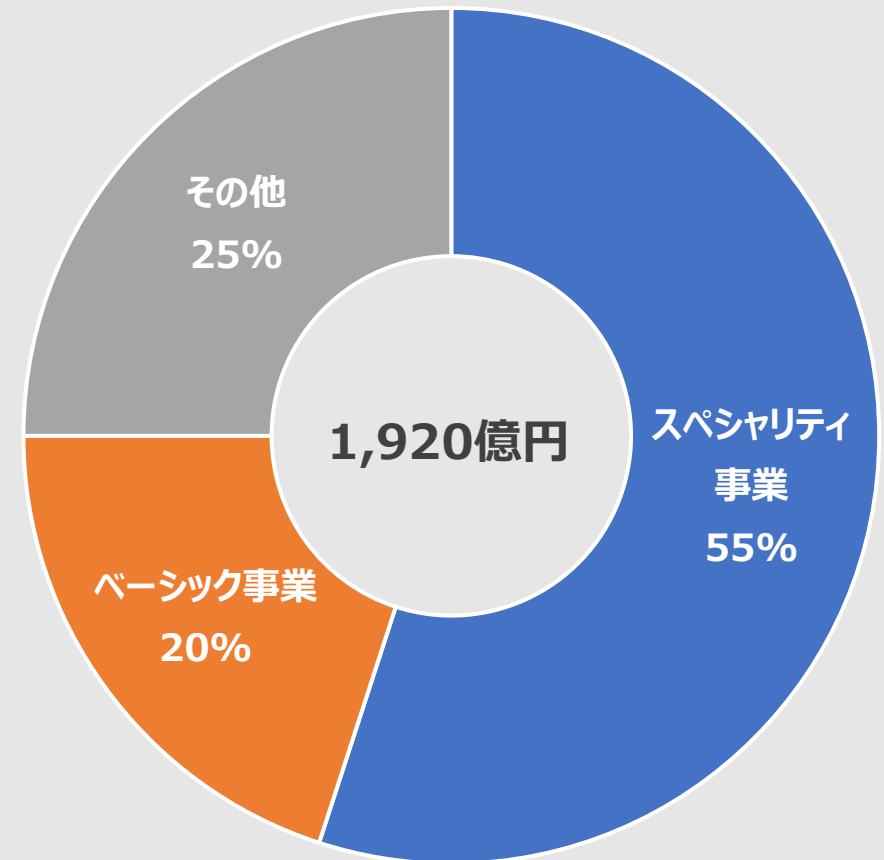
※括弧内は前中計実績値（セメント関連事業除く）

◆ 3年間の設備投資・投融資 **1,600億円** **(761億円)**

設備投資	→	1,400億円	(694億円)
投融資(M&A含む)	→	200億円	(67億円)

◆ 3年間の研究開発費 **320億円** **(312億円)**

◆ 合計 **1,920億円** **(1,073億円)**



※機械セグメントはその他に含む



2023年度業績予想

- 売上高は樹脂・化成品セグメントにおける需要減退や販売価格の下落の影響により減収となるが、営業利益は機能品、機械、その他セグメントが好調に推移し増益を見込む。
UBE三菱セメント社の業績改善に伴い持分法投資損益は大幅に改善

(単位：億円)

項目	'22年度		'23年度		差異
		3Q実績		3Q実績	
売上高	4,947	3,684	4,840	3,329	△107
営業利益	162	130	170	123	8
経常利益	△87	△45	265	232	352
親会社株主に帰属する当期純利益	△70	△24	215	199	285
有利子負債	2,181	2,227	2,180	2,182	△1
自己資本	3,616	3,658	3,850	3,849	234
自己資本利益率 (ROE)	△1.9%	—	5.8%	—	7.7%
D/E レシオ	0.60倍	0.61倍	0.57倍	0.57倍	△0.03倍

(参考)

UBE三菱セメントグループに係る持分法投資損益	△246	△170	105	102	351
-------------------------	------	------	-----	-----	-----

(注) 2023年度第1四半期連結会計期間において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2022年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

■ 樹脂・化成品セグメントにおいて需要減退や販売価格の下落等の影響があるものの、機能品、機械、その他セグメントは好調に推移し減収増益の見込み

（単位：億円）

セグメント	売上高							営業利益						
	'22年度			'23年度			'24年度	'22年度			'23年度		'24年度	
	計画	実績		計画	予想		計画	計画	実績		計画	予想		計画
		3Q			3Q実績				3Q	3Q実績				
機能品	690	622	474	700	675	468	750	130	102	85	125	130	83	130
樹脂・化成品	3,020	2,934	2,252	3,200	2,575	1,837	3,160	185	26	33	240	△20	△6	220
機械	1,060	969	693	980	1,065	656	1,000	50	52	26	55	65	44	60
その他	600	731	506	570	810	583	540	25	26	17	35	40	26	40
調整額*	△270	△308	△241	△250	△285	△215	△250	△45	△45	△31	△45	△45	△24	△50
計	5,100	4,947	3,684	5,200	4,840	3,329	5,200	345	162	130	410	170	123	400

* 「調整額」にはセグメント間消去を含む

■ポリイミド、分離膜などスペシャリティ事業は着実に成長、ベーシック事業は22年度、23年度大きく乖離

（単位：億円）

ポートフォリオ	売上高						営業利益											
	'22年度			'23年度			'24年度			'22年度			'23年度			'24年度		
	計画 ^{*1}	実績		計画 ^{*1}	予想		計画 ^{*1}	計画 ^{*1}	実績		計画 ^{*1}	予想		計画 ^{*1}				
3Q			3Q実績			3Q				3Q実績								
スペシャリティ	1,435	1,382	1,006	1,490	1,575	1,113	1,620	235	184	149	245	205	126	240				
ベーシック	2,385	2,369	1,825	2,520	1,990	1,433	2,400	110	△34	△19	165	△50	△20	155				
機械	1,060	969	693	980	1,065	656	1,000	50	52	26	55	65	44	60				
その他 ^{*2} （調整額を含む）	220	228	160	210	210	127	180	△50	△40	△27	△55	△50	△26	△55				
計	5,100	4,947	3,684	5,200	4,840	3,329	5,200	345	162	130	410	170	123	400				

*1 内部取引に係る調整額を各ポートフォリオに配分することにより、2022年5月発表の計画値を組み替えている

*2 「調整額」にはセグメント間消去を含む

IV

スペシャルティ化学の成長戦略

ポリイミドチェーン（ポリイミド、分離膜）、
ファインケミカル（C1ケミカル）

製品特性・ 強み

- 強度・耐熱性・寸法安定性に優れたプラスチック
- 自社原料と独自製法により差別化した特徴のある製品を提供

事業環境

現状

スマートフォンはフレキシブル有機ELディスプレイの比率が増加

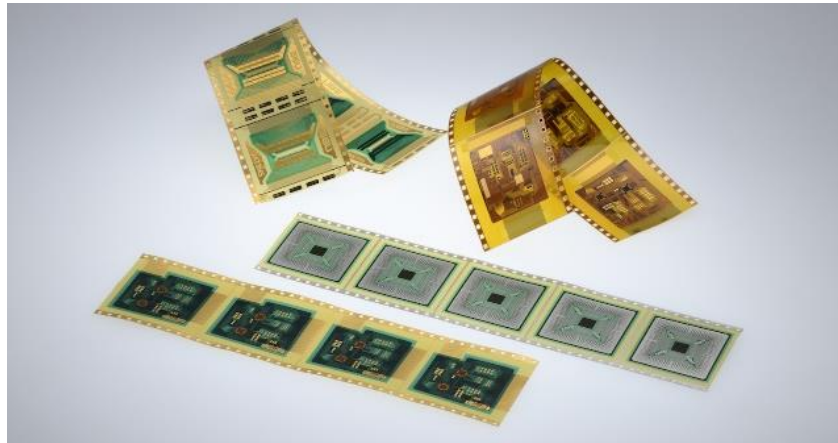
2030
年度

ディスプレイの需要は今後も成長見込み

2030年の 目指す姿

強みを活かしニッチな市場で高いシェアを確保し、
高い収益性を維持

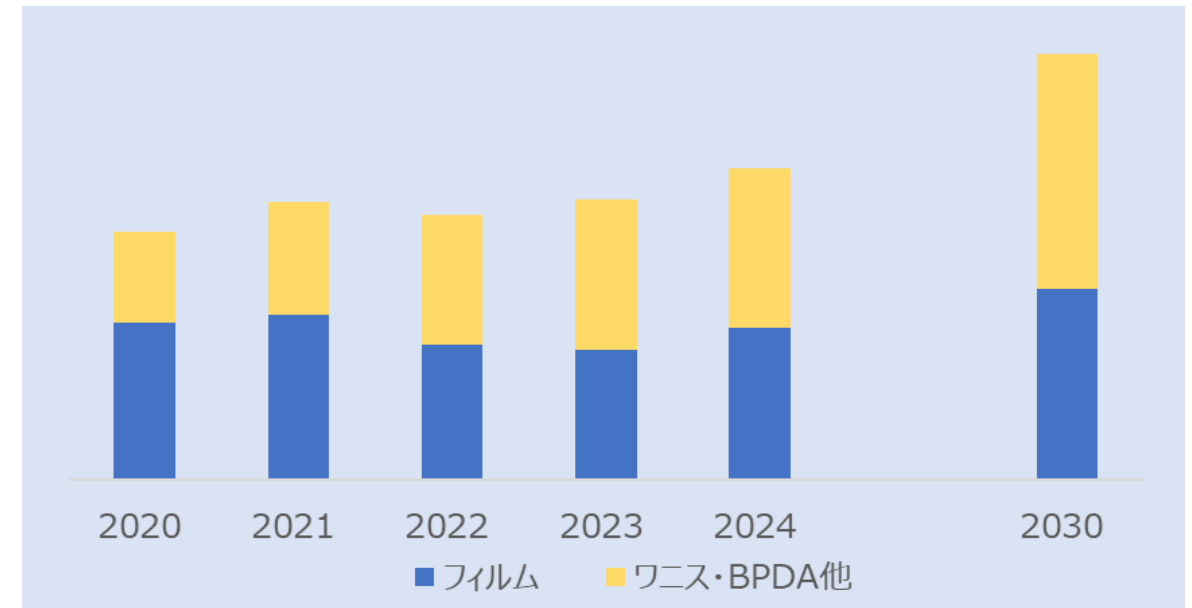
— ポリイミドの用途例 —



UBEのポリイミドはその特性を活かし、大型液晶ディスプレイ向けCOF*（写真）やフレキシブル有機ELディスプレイ回路基板などで高いシェアを有している。

*Chip-On-Film：ポリイミドフィルムの配線回路基板上にドライバICを実装

— 売上高の推移 —



製品特性・
強み

- 混合ガスの中からCO₂、窒素など特定のガスを分離・抽出する膜
- 独自のポリイミド技術による優れた耐久性、ガス透過・分離性が強み

事業環境

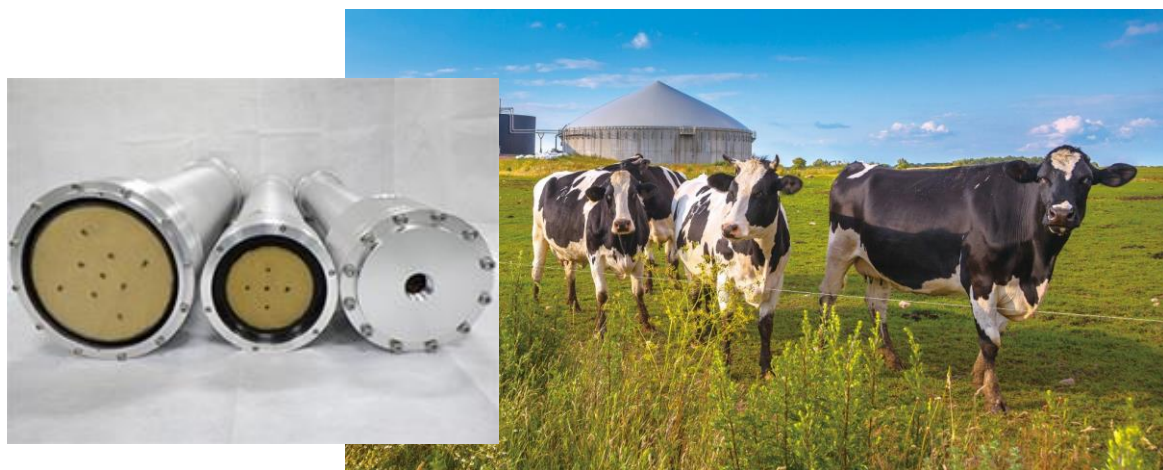
現状 欧米でバイオ燃料の生産が急増

2030 年度 カーボンニュートラルへ向けて、再生可能なエネルギー・化学品用途の需要増

2030年の
目指す姿

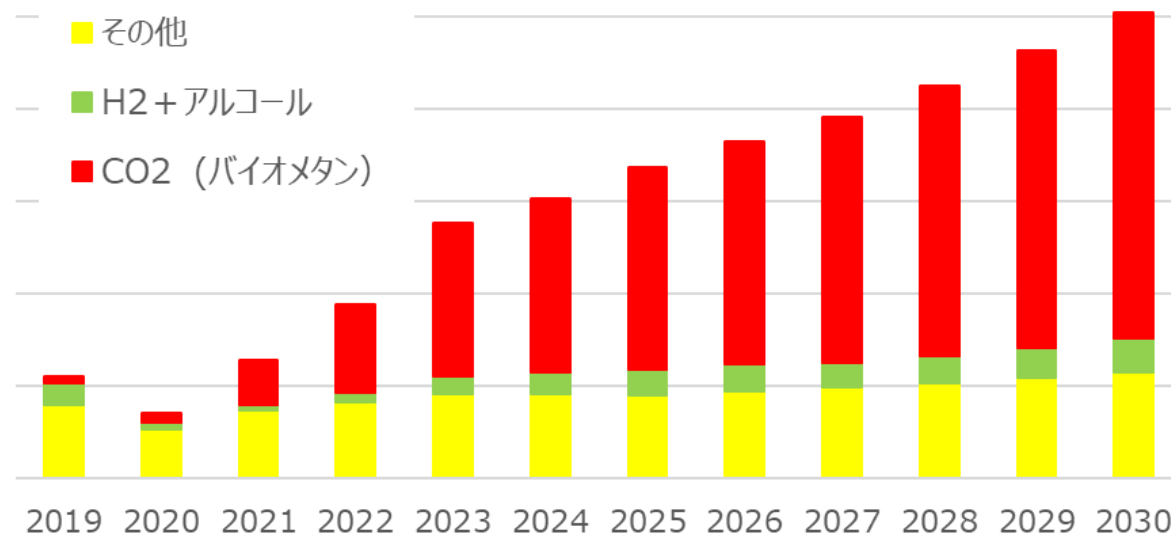
大幅な利益成長を実現するとともに、
地球環境に貢献する製品の比率を高める

— 分離膜の用途例 —



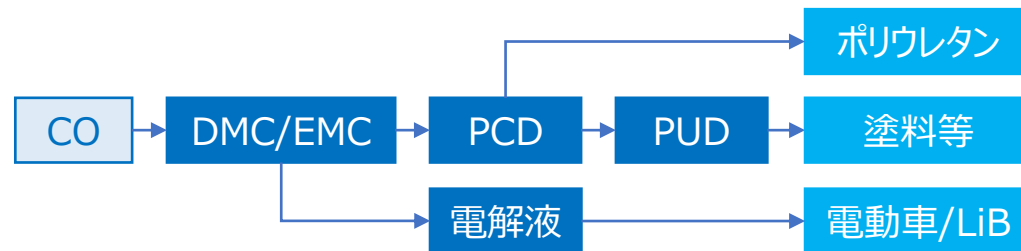
UBEの分離膜モジュール（左）は、家畜の糞尿等から発生するバイオガスからCO₂を分離・除去してバイオメタン（燃料）として濃縮する。濃縮されたバイオメタンは再生可能エネルギーとして活用される。

— 販売数量の推移 —



製品特性・強み

- 独自開発の「ナイトライト技術」をもとに、CO（一酸化炭素）を原料として展開される製品群
- 独自製法により副産物が発生しない、世界トップシェア、高い配合技術力など



事業環境

現状 電動車向けのリチウムイオン電池需要が拡大
 アジアで高級ウレタンの需要が拡大

2030年度 リチウムイオン電池や高級ウレタン市場は大きく拡大

2030年の
目指す姿

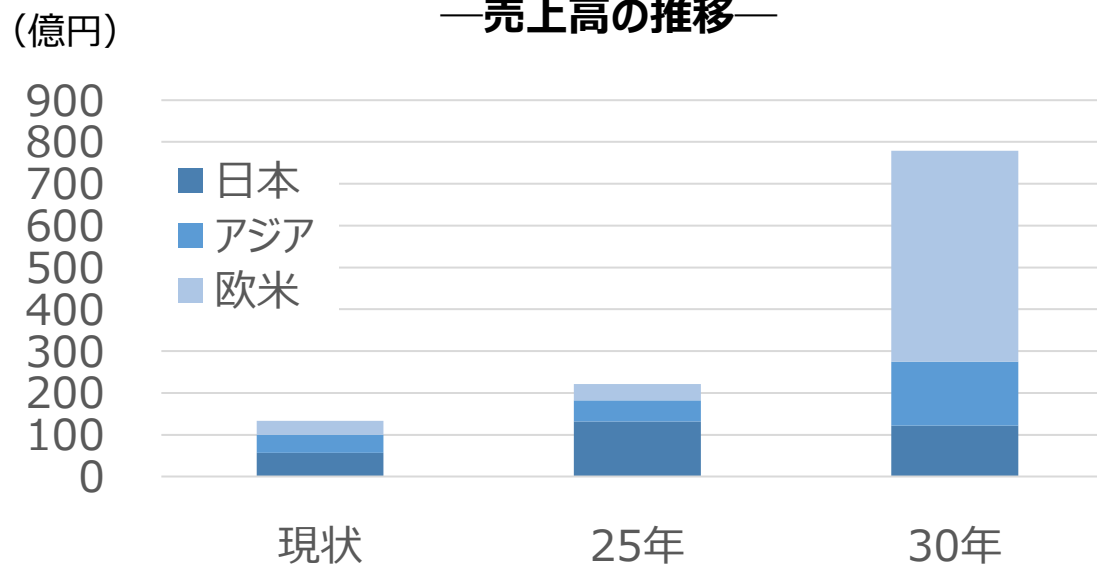
アメリカ・欧州にDMC/EMCの生産拠点を確保し、
海外での事業拡大を目指す

— C1ケミカル製品の用途例 —



DMC/EMCは、リチウムイオン電池の電解液溶媒に使用される。
 PCDは、高級ポリウレタン樹脂の主成分として合成皮革原料等に
 使用される。PUDは、環境にやさしい水系塗料として使用される。

— 売上高の推移 —





機械事業・セメント関連事業

- 各事業が自立的な経営を推進し、その事業で存在感を示すとともに、UBEは株主としてガバナンスを果たす



- UBEマシナリー(株)（UBEの100%子会社、2022年に宇部興産機械(株)から商号変更）で手掛ける機械事業
- 主に自動車向けの大型部品を製造する「成形機」や、発電所等で使用される「産業機械」などを製造
- 機械製品の販売に加えメンテナンス等のアフターサービスに注力することにより、安定した収益を獲得

—成形機（ダイカストマシン）の例—



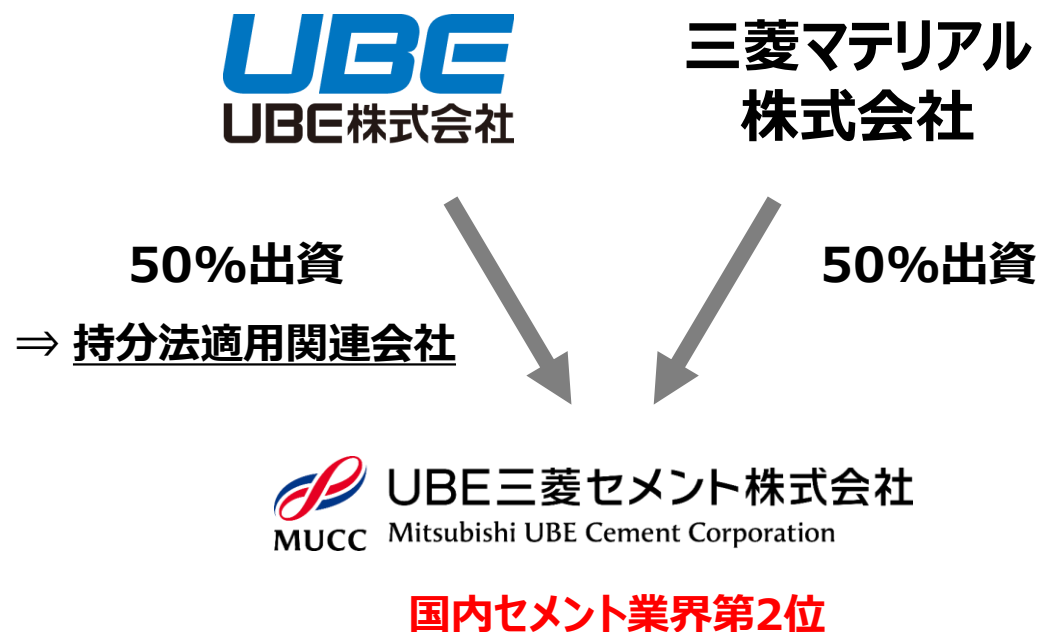
複数の部品で構成される自動車の車体（アンダーボディ）などを1つの部品として一体成形することを可能にしたダイカスト技術「ギガキャスト」に対応した超大型マシン。自動車の電動化など時代のニーズに応える成形機械を開発している。

—産業機械の例—



粉塵が発生せず、かつ低騒音である環境対応型コンベヤ（エア浮上コンベヤ）。バイオマスハンドリング、洋上風力発電設備、アンモニア関連設備など環境新市場への参入に取り組む。

- UBEと三菱マテリアル(株)は、セメント生産機能と石炭事業を含む、両社のセメント関連事業を完全統合した。2022年4月より、UBE三菱セメント(株)として営業開始
- 国内セメント事業の基盤を強化するとともに、創出されるキャッシュ・フローを国内外で成長が期待できる事業に集中投下し、さらなる発展を目指す



記者会見するUBE 泉原社長（左）と
三菱マテリアル(株) 小野社長（右）※2020年

- 熱エネルギー価格等の高騰により2022年度は赤字となったが、販売価格是正や生産体制最適化等の施策により2023年度は回復する見込み

UBE三菱セメント(株) 連結損益計算書

項目	'22年度	'23年度	差異
売上高	5,763億円	5,900億円	137億円
営業利益	△284億円	395億円	679億円
経常利益	△258億円	405億円	663億円
親会社株主に帰属する当期純利益	△473億円	195億円	668億円

UBE(株) 持分法投資損益

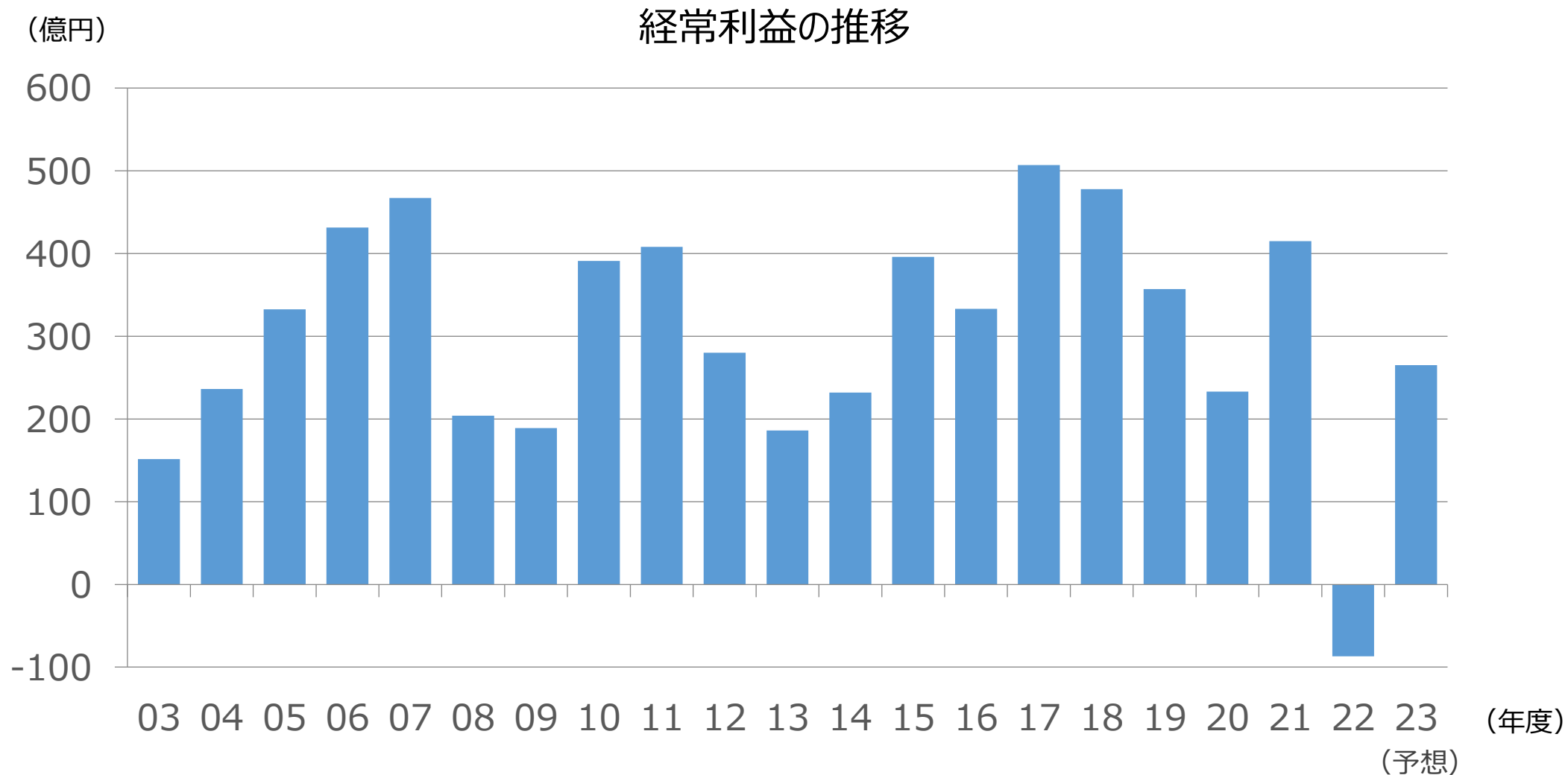
持分法による投資利益（損失）	△246億円	105億円	351億円
----------------	--------	-------	-------

The logo consists of the Roman numeral 'VI' in a bold, white, sans-serif font, centered within a white square. The background of the slide is a vibrant blue with a dynamic, abstract pattern of light-colored, curved lines that create a sense of depth and movement, resembling a tunnel or a stylized sunburst.

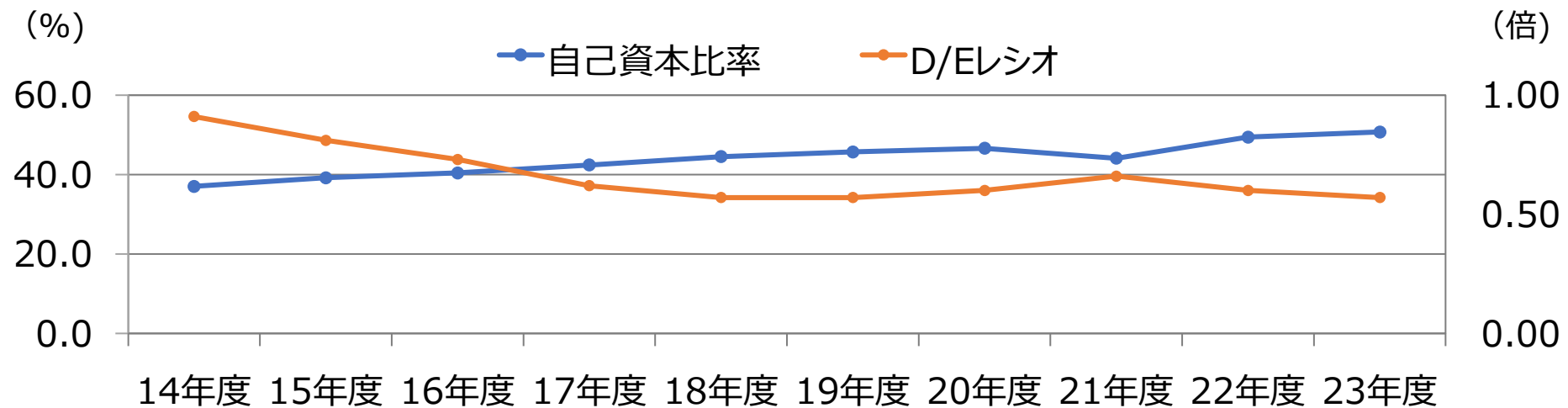
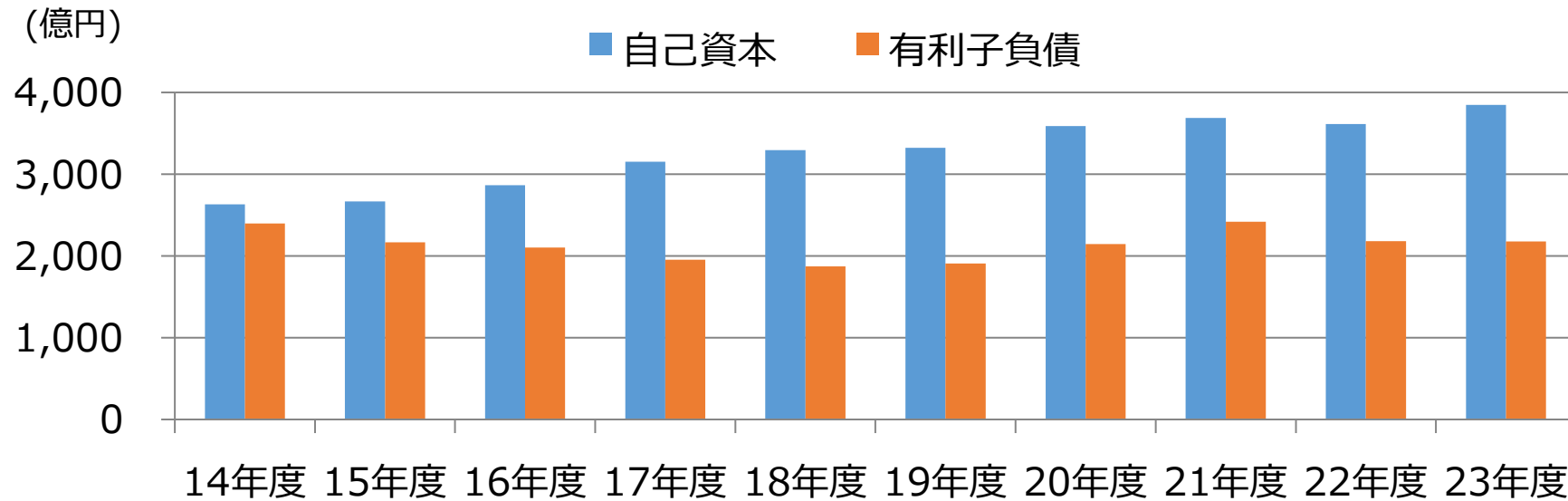
VI

株主還元の考え方

- 2022年度はセメント関連事業において石炭価格高騰の影響を大きく受けたため赤字となったが、不況下においても着実に利益を確保



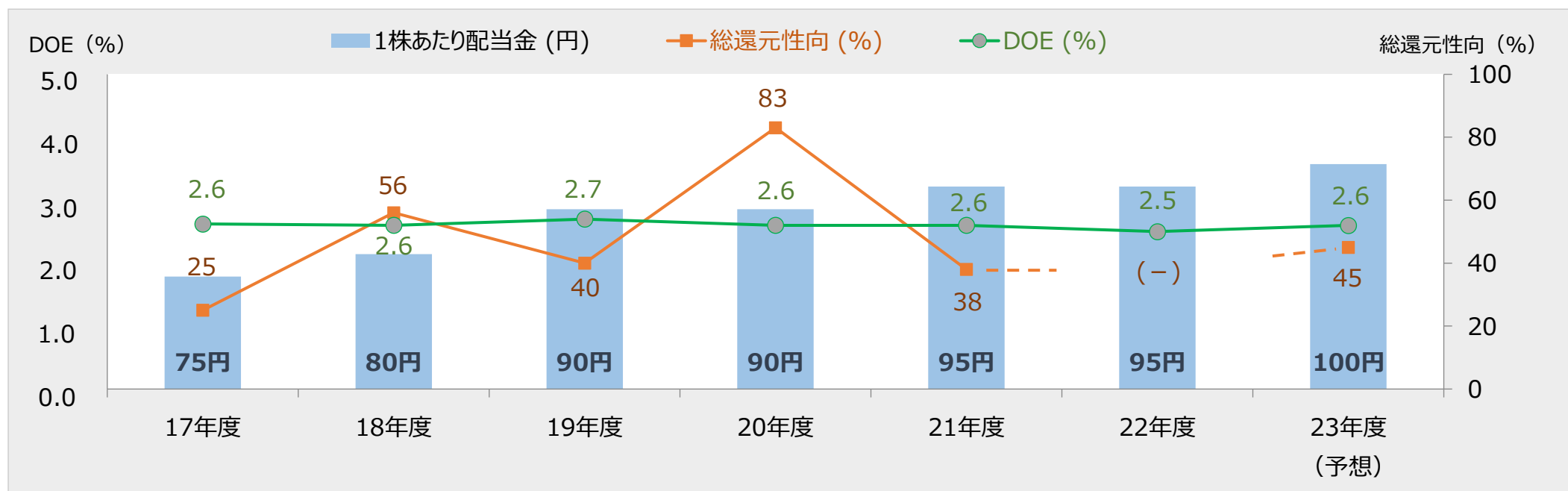
■ 財務体質は健全な水準を維持



■ 安定的な配当の継続を基本方針とし、積極的な成長投資と将来の株主還元のさらなる充実を目指す

**DOE（株主資本配当率）
連結総還元性向**

**2.5%以上
30%以上（3カ年平均）**



※ 総還元性向：自己株式の取得（2018年度100億円、2020年度100億円（実施は2021年度））を含む

UBE *Transform Tomorrow Today*

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用などを行うことはできません。